

銃暴力防止 キャンペーン



カリフォルニア州危機管理局（CalOES）の取り組みである「レデュース・ザ・リスク」は、銃による暴力を阻止し、命を救うことができる9種類の保護命令について理解を広め、深めるための教育活動です。

差し迫った危険にさらされている場合は、**911**に電話してください。



保護命令は効果があるにもかかわらず、多くの人がある存在を知りません。最近の調査によると、約**80%**の人がこの問題に関して十分に情報がないと、心配しています。

コミュニティに情報が行き渡っている

「レデュース・ザ・リスク」キャンペーンは、法執行機関、法律実務、医療の専門家で構成される優れたチャンピオン諮問委員会と、銃による暴力防止対策の最前線で活躍する若手リーダーで構成されるユース諮問委員会によって伝えられます。

保護命令

2016年以降、銃による暴力禁止命令などの保護命令により、カリフォルニア州では58件の銃乱射事件の脅迫が阻止されました。¹

これらの命令は、自分自身、または他人への危害を加える可能性のある人から一時的に銃を没収するものです。愛する人や友人が危険な行動に出そうな兆候を出した際に、対応する手段を与え、自殺、銃乱射事件、その他の暴力行為を防ぐのに役立ちます。

- 銃による暴力禁止命令
- 家庭内暴力禁止命令
- 高等学校における暴力禁止命令
- 高齢者／扶養家族に対する成人虐待禁止命令
- 青少年接近禁止命令
- 民事上のハラスメント禁止命令
- 職場における暴力禁止命令
- 緊急保護命令
- 犯罪保護命令

銃による暴力に関する数

カリフォルニア州は他のほとんどの州に比べて銃による死亡者数が少ないものの、銃暴力は依然として多くの人々を傷つけています。人の命はたとえ一つ失われたとしても、多すぎることです。銃暴力の対応に、カリフォルニア州に年間約419億ドルを費やしています。そのうち約11億ドルを納税者が負担しています。つまり、カリフォルニア州の州民一人当たり、銃暴力に関連する費用として約1,060ドルを支払っていることとなります。

- 銃を家に所有する人は、銃によって殺される可能性が高くなります。
- 女性が銃を所持している場合、自殺する可能性ははるかに高く、その数は約**35**倍です。銃を初めて所持する男性の場合は、約**8**倍です。
- ほとんどの銃乱射事件は突然起こるものではありません。多くの場合、事前に何かしらの危険信号を発しています。
- アメリカでは毎日約**132**人が銃で殺されています。つまり、**11**分ごとに**1**人が銃による暴力で亡くなっているのです。

保護命令と銃による暴力のリスクを軽減する方法について詳しくは、こちらをスキャンしてください。
ReducetheRisk.ca.gov

¹<https://injuryprevention.bmj.com/content/28/5/465#DC1>